

大学における感染対策の徹底について

新型コロナウイルス感染症は、感染力が非常に強いデルタ株への置き換わりなどにより、愛知県では、8月26日に新規陽性者数が初めて2,000人を超えるなど、爆発的に感染が広がっています。

特に、10代、20代の感染が全体の約半数を占めており、若い世代の感染拡大を防止していくことが喫緊の課題となっております。

中でも、活動量の多い大学生においては、部活動等の課外活動によるものや、学外での会食・旅行を介した感染事例が多くみられます。

このような感染拡大のリスクを高める行動ひとつが、多くの人々を危険にさらすことになるため、学生一人一人が強い危機感を持って行動していただくことが必要です。

各大学におかれましては、次頁の例を参考に、学内における感染防止対策の再確認と学生への注意喚起を今一度徹底していただきますようお願いいたします。

2021年9月2日

愛知県知事 大村 秀章

<感染対策として積極的に実施していただきたい項目例>

- ・ 時差登校、分散登校を積極的に行う。
- ・ 遠隔授業を適切に活用する。
- ・ 対面授業を行う場合は、人と人との間隔を十分に確保する。
- ・ 教室等の常時換気を徹底する。
- ・ 部活動や課外活動をしっかり管理できる体制を整える。
- ・ 合宿・他校との練習試合等を一時的に制限する。
- ・ ワクチン接種を希望する学生に対して積極的な支援を行う。
- ・ 授業や部活動等終了後の寄り道を避け、速やかに帰宅するよう促す。
- ・ 多人数での飲み会、懇親会等のほか、集団行動も厳に慎むよう徹底する。